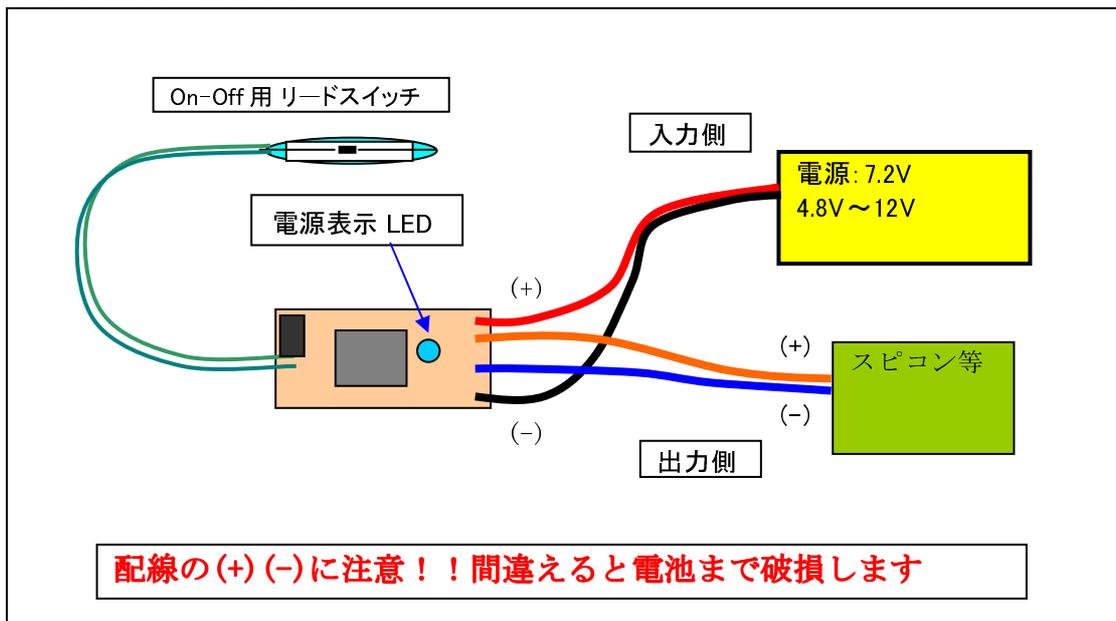


小型 R/C 電源用マグネット・スイッチ MG-11F3・MG-11F8 取り扱い説明書

(2011.02.12)

<仕様> MG-11F3(3A 用)、MG-11F8(8A 用)
基板サイズ:L22xW12xH9 重量約 6g
使用電圧:7.2V 標準 (4.8V~12V まで可能です)
開閉電流:最大 DC 3A/8A 但しこれは FET および電線容量による制限値
電源表示 LED 青色
On-Off 用リードスイッチの配線は 10cm 付属

<各部説明と接続例>



<設置・作動確認方法>

1. 出力側の配線にスピコン等を赤/橙(+).青(-)を間違えないように接続します。
2. 電池から入力側の配線に赤(+).黒(-)を間違えないように接続します。
3. 電源表示用青色 LED が消灯している事を確認。もし点灯していたら Off 用リードスイッチに磁石を近づけて Off にします。
4. 動作確認はリードスイッチに磁石を近づけて On にします。
5. 青色 LED が点灯し、出力側配線に電源電圧が出力される事を確認。
6. 再びリードスイッチに磁石を近づけて Off にします。

注意:

ノイズ防止のために磁石は 0.1 秒以上当てないと動作しない設計になっています。
電源 off 時には、ほぼ完全に回路を遮断します。標準的な漏れ電流は 17 μ A 程度です。

<注意点>

- * リードスイッチは船体外板の内側にテープ等で固定し、外部からの作動テストを確実に行ってください。磁石の種類・強さによっては距離があると反応しない事があります。
- * 操作用の磁石は普通のものでも問題ないですが、リードスイッチから船体外側までの距離がある場合はネオジウム磁石等の強力なものを使用して下さい。
- * 本機は電源スイッチ機能のみなので BEC 回路がありません。つまり電池(例えば 7.2V)の電圧がそのまま出力されるので、R/C 受信機(4.8V-6.0V 用)等に直接接続すると故障の原因となります。
- * 配線接続時は入力・出力ともに(+)(-)の極性に注意して下さい。極性を間違えますと最悪の場合受信機やスピコン、バッテリーの破損・破裂・発火の恐れがあります。
- * 出力側端子から BEC 回路搭載のスピコンの電源部に接続するのが一番安全で確実です。
- * マグネットスイッチで操作した電源の On-Off 状態は内部メモリーに記憶されていますので、使用中何らかの原因で電源が落ち、再起動したときには直前のメモリー状態に復帰します。
- * リードスイッチは(+)(-)の極性はありません。
- * リードスイッチはプラスチック被覆してありますが、ガラス管で壊れやすいので取扱いに注意して下さい。
- * 回路は全く防水ではありません。水没しにくいメカルーム上部に設置するように お勧めします。

注意： 本機の仕様および操作方法は予告無く変更する場合があります。

改良点や問題点がありましたらよろしくアドバイス下さい。
次のバージョンアップに検討・活用します。

By **RN Muratech**

e-mail : rn-sub@marine.nifty.jp